

野球部

創部100周年記念式典・祝賀会 開催



所沢高校野球部創部100周年記念祝賀会 (令和5年8月6日 ベルヴィ・ザ・グラン) [記事は3面]

2024年(令和6年) 7月発行
埼玉県立所沢高等学校 同窓会
所沢市久米1234 ☎04(2922)2185

目次

- (1) 野球部100周年記念式典/秋田孝会長挨拶
- (2) 校長挨拶/後援会賛助会員加入のお願い
- (3) 野球部100周年
- (4) 佐藤秀樹さんインタビュー
- (5) 岡崎先生/榎元先生インタビュー
- (6) 新会員となつて「所高のいま」
- (7) 活動報告/起業ゼミ開催/母校で教育実習
- (8) 令和6年度入試結果
- (9) クラス幹事・同窓会役員・決算報告書
- (10) 同窓会開催情報・INFORMATION
- (11)
- (12)

「在校生支援と

同窓会の充実を」



同窓会会長 秋田 孝

平素より同窓生の皆さまにおかれましては、同窓会の活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

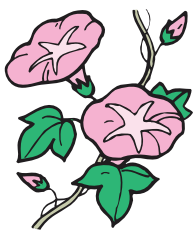
さて、昨年は伝統ある所沢高校野球部が創部百周年を迎えました。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が五類に移行したこともあり、木村一男 野球部OB会会長はじめ関係者各位のご尽力のもと、記念式典・祝賀会が盛大に開催されました。

また、第六七回「所高祭」の同窓会コーナーでは同窓生が再会し昔話に花が咲き、所沢高校ならではの空気

を久しぶりに満喫することができたようでした。これからも在校生への応援とともに、同窓生の交流がより図られるようなイベントなどを支援していきたいと思えます。

そして、所高生に朗報があります。「西所沢駅の西口改札口開設事業の基本設計協定書」が令和五年十月十一日に所沢市と西武鉄道との間で締結されました。この協定書によると、所高生が登校時に大踏切付近に滞留することが予想されることから、横断歩道にたまり場を設置する予定とのことです。一日も早い開設を願います。

皆さまのより一層のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



「文化を樹つる意気」を磨きます



校長 内田 俊正

秋田同窓会長様はじめ同窓のみなさまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から部活動で上位大会に進出した生徒への激励、グローバルスタディーズプログラム参加生徒や英語検定など上位資格にチャレンジする生徒への支援をはじめ、母校への温かいご支援やご援助をいただいておりますこと、大変ありがたく感謝申し上げます。卒業式、入学式では秋田会長様から直接生徒保護者に向け、さまざまなお話をいただいておりますことをお話しさせていただきます。送るよう激励していただきました。ことし五月に同窓会総会に出席させてくださいました折、役員の方々のお話を伺っていて、世代やお立場により見方も考えもさまざまでありながら、所高に学んだ人だけが持つ「幹」の存在を感じました。「縁」なのだと思感した次第です。

先日、生徒会活動を記事にしたいということで記者が来校、生徒会役員たちがインタビューを受ける場面があったのですが、話が弾み、時間の過ぎるのも忘れるほど濃密な時間だったようです。取材後、記者から電話があり、所沢高校の教育レベルの高さ、社会に対する問題意識の高さなど、高い評価をいただきました。先輩諸氏が築いてきた所高のDNAは脈々と受け継がれております。在校生にアンケートを取ったところ、本校進学を決めた理由で最も多かったものは「校風に魅力を感じたから」でした。こうした校風をさらに磨き、校歌の『文化を樹つる意気高し』にふさわしい、将来大きく羽ばたく人材を育ててまいります。

そして、生徒にはいつか訪れるであろう人生の節目ごとに「所高を選んでよかった。自分の選択は正しかった。」と、青春の三年間を共にした仲間や先輩諸氏とともに所高との縁を喜び、幸せを受け止めてもらいたいと念じております。引き続き、教職員と生徒が一体となり、学校生活をいかに充実させるかという大きな課題に取り組んでまいります。今後ともご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

後援会賛助会加入のお願い
【同窓会事務局より】

日頃、所沢高校の運営にご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。県立の高校である本校の運営は、基本的に県が行っておりますが、まかないきれない部分にしましては、在校生の保護者のみなさまからいただいている後援会費を充当させていただいております。現在、生徒一人あたり13,200円/年を徴収させていただいておりますが、県内でも極端に少ない額であるにもかかわらず、保護者負担がこれ以上増えるのは好ましくないとというのが県の方針となっております。

近年、設備の老朽化やGIGAスクール構想に伴う設備の更新などの理由で、所沢高校の財政がかなり圧迫されています。教材費や全国大会の派遣費が不足するなど、生徒の学習活動にも影響が出ております。同窓生の皆様には、在校生支援の一環として、賛助会員になっていただけますようお願い申し上げます。賛助会費は一口二〇〇〇円となっておりますので、できる範囲でご支援いただければ幸いです。

後援会賛助会費納入方法

(一) 同封の用紙をお使いいただく場合
お名前をご確認いただき、コンビニでお支払いをお願いいたします。手数料が一九八円かかるとして関係で、四〇〇〇円(二〇〇)とさせていただきます。

※同窓会名簿の管理を委託している株サフトの口座にいったん振り込まれたのちに、所沢高校後援会の口座に送金されます。

(二) 郵便局にお振込みいただく場合
左記の口座にお振込みください。二〇〇〇円(一口)からお振込み可能です。

加入者 埼玉県立所沢高等学校
口座番号 00120653754

(参考)

- 過去三年間の賛助会費総額と会員数
- 令和三年度 一六〇〇〇〇円(二六名)
- 令和四年度 四四〇〇〇円(七名)
- 令和五年度 六四〇〇〇円(一〇名)

野球部 100周年

所沢高校野球部創部100周年
記念式典・祝賀会を盛大に開催!!

令和五年(2023)八月六日(日)

所沢高校野球部創部100周年記念式典・祝賀会が、野球部OB会・創部百年記念事業実行委員会(木村一男委員長・昭44卒)の主権により、ベルヴィザ・グラン(所沢市星の宮)において多数の御来賓の御臨席のもと、百名を越えるOB・OGが集り、盛大に開催されました。

記念式典では、藤本正人前市長・内田正俊校長・秋田孝同窓会長の御挨拶、続いて昭和33年からの肥沼金治監督(所高OB・昭29卒)をはじめ現在までの6人の歴代監督に感謝状と記念品が渡され。現役生にも記念品目録(LED照明、プレハブ小屋)が贈呈されました。

また岡村能成記念史編集委員長(所高OB・元野球部長)主導の下、2年がかりで編集・制作した『所沢高校野球部百年史』が披露され、出席者全員に配付されました。この百年史には所沢高校同窓会からの協賛広告を掲載させていただきました。

会場が移った祝賀会では、所高OB有志による所沢市由来の重松流祭囃子が賑やかに披露されました。開会後は会場全体が和やかな雰囲気になります。また、歴代監督を囲んで、世代を越えた『大同窓会』が繰り広げられ、応援歌・校歌斉唱歌、盛会裏に終了しました。

宮田佳和(OB会副会長・昭58卒)

●野球部略史

1923(大12)年

「創部」所沢高校の前身・所沢実業学校時代/埼玉県下8番目の創部1930(昭5)年

「大会初出場」第16回全国中等学校優勝野球北関東大会に参加

ユニフォーム名「HIBARINO(雲雀野)」/栃木・足利工に敗戦

1960(昭35)年

「本校最高成績」春季大会及び全国選手権埼玉大会ベスト4/夏は優勝の大宮高に延長戦で惜敗

1962(昭37)年

「プロ野球」安次嶺栄七投手が東京オリオンズ入団(現千葉ロッテ)

五十嵐義夫氏元パリーグ記録部長

1977(昭52)年

「全国初の女性部長」

築地弥生先生のベンチ入りが話題

2022(令4)年「公立最高成績」

全国選手権埼玉大会ベスト16

※その他ベスト8多数

●『所沢高校野球部百年史』

ご希望の方には3千円(全168ページ)にてお分け致します。左記野球部OB会までご連絡ください。なおQRコードにて、野球部OB会の活動状況がわかります。

また、「百年記念グッズ」の掲載もあります。



連絡先: 宮田佳和 090 (6028) 4418
tokorozawahs.ob.nascrcs@gmail.com

インタビュー 活躍する同窓生

R6同窓会報記事

佐藤秀樹さん(1984卒)

カフェ「いつつぽし」経営 (富士見市)

「**所高入学はいつでしたか?**」

1981年の4月です。

「**入学時の思い出は何かありますか?**」

当時流行っていたDr.スランプという漫画に出てくる「則巻千兵衛」という博士に顔がとても似ていたので、いきなり「せんべい」と呼ばれました。それ以降、今でも所高の友人に会うと「せんべい」と呼ばれています。



「**所高ではどんな生徒でしたか?**」

決して勉強熱心とはいえない、楽しければ何でもいやという生徒でした。LHRでドロ警をやった時に上履きで外に出たのを体育の布施先生に厳しく厳しく叱られました(笑)。

当時の布施先生の厳しさと言えば同世代にはわかってもらえないかと思えます。

「**その布施先生をはじめ、当時の先生たちはどうでしたか?**」

所高生も個性的でしたが、先生方もとても個性的な方が多く、面白い方ばかりでした。今でも覚えているのは球技大会に先生たちも教員チームとして出場し、ソフトボールで体育の安藤先生が生徒相手にホームランを打ちまくったのを見て、「なんて大人気ない人なんだ(笑)」と思っ

たことをよく覚えています。
「**そもそも、なぜ所高に入学したのですか?**」

私は中学2年の時に友人からオーストラリアで農場を一緒に経営しないかと誘われ、とても夢のある内容だったのですぐに同意し、大学に入って食物に関する研究をしたいと思い、大学進学率の高い所高を選びました。入学して生物部に入り、食物を含めた様々な生物に関する研究を「ゆるーく」行っていました。

「**当時の所高の生徒たちはどんな印象でしたか?**」

一言でいえば、「仲良しなだけけど、つまらない」という印象です。とても穏やかで協力的な人が多いのですが、一方で他人には依存しないという生徒が多かったと思います。

「**つまり、自立してる生徒が多かったというところでしょうか?**」

そうです。自分という強い1本の筋を持つている生徒が多かったように思います。
「**そんな所高で一番の思い出と何が思い当たるでしょうか?**」

はい。3年生の時に体育祭実行委員長をやった時のことです

「**具体的に教えてください。**」

私が閉会式に朝礼台の前で全校生徒の前で号泣したという思い出です。

「**えっ?ぜひ具体的に教えてください。**」

当時、各学年は8クラスで、所高の体育祭は3年1クラス2年1クラス1年1クラスのいわゆる縦割り連合を作り、体育祭を戦っていました。

「**各団体に色がついて赤連合・白連合・青連合・・・というものですね。その伝統は今も続いていますか?**」

ところがその年、1年生が2クラス増えて1年だけ10クラスになってしまいました。そのため、体育祭実行委員会ではこの「余った2クラス」をどう振り分けるかということについて議論を重ねました。

「**どのような議論が出たのでしょうか?**」

片や、2つの連合だけに1年生を2クラス入れて4クラスの連合にするというシンプルな意見と、片やその「余った2クラス」の生徒を8色のチームに分けてそれぞれの団体に入れる意見が出ましたね。これだと各連合の選手数が均等になり、選手層による不公平がなくなるというメリットがあります。しかし、それは1つのクラスが8分割されるので、クラスとしての「絆」や「共同体」みたいな意識が薄くなるというマイナス面もあります。

「**難しい選択ですね。最終的にはどうなったのでしょうか?**」

結局、クラスを分解するのは行事本来の主旨に沿わないということで、2つの連合に1年生が2クラス入る「4クラス連合」という形になりました。その結果、予期せぬことが起きたのです。

「**何かこのあたりが号泣に関わっているのでしょうか?**」

はい。単純に生徒の数が増えたので、例年よりも1競技あたりのレースの数が増え、トータルするとかかなり増えました。そのため、1つの競技にかかる時間が長引いてしまい、どんどん後へ後へと時間が押していったんです。所高には定時制があるため定時制の開始時間までには絶対に体育祭を終了させねばなりません。そのためいくつかの競技をカットしないと時間までに終わらないという事態に

なりました。

「**なるほど。**」

「**次の競技は時間の都合によりカットします。」と放送で連絡をされると、多くの生徒たちから溜息やブーイングのような声が聞こえてきました。**

「**それは生徒にとってはかなり残念なことですね。**」

はい。結果的に数種類の競技がカットされてしまいました。おそらく連合の中には、事前に練習などをして競技の1位を目指していて、その競技がカットされたことは相当ショックだったと思います。その責任を一身に私が感じていました。

なんとか定時制が始まる前に競技は全て終了し、閉会式を迎えることができて優勝「〇〇連合」、準優勝「〇〇連合」などと発表することができました。私が朝礼台の前で発表していると、もしもあの競技があったら順位が変わっていたのでは?などと思っている「表彰されなかった連合」の生徒さんたちの顔が目に映りました。閉会式の最後に「体育祭実行委員長からの講評」というのがあり、私が生徒の前で話をする機会を得たのですが、責任を感じた私は生徒たちに謝らねばならないという思いが強く、「皆さん、申し訳ありません。全て私が悪いんです!」と言った途端に涙が溢れてきました。

「**凄い場面ですね。つまりそれが号泣なのですね。**」

はい。

「**その後はどうなりましたか?**」

意外なことに、生徒たちは『せんべいのせいじゃないよ!』『せんべいは悪くないよ!』と大きな声をたくさんかけて

頂き、さらに『せんべい、よくやったよ。おい！みんなでせんべい胴上げしようぜ！』となり各連合の人たちが朝礼台前に集まり、私を胴上げしてくれたのです。

「先ほどは別の意味で凄く場面ですね。」
はい。とても救われて、感激したのを覚えていますが、同時になんで俺胴上げされてんだろ？と不思議な気持ちにもなりました(笑)。

「当時の生徒たちは何が熱かったのですか？」
熱さの方向性はともかく、青春でしたね。その後、全校生徒でグラウンドを走り回ったのを覚えています。

「まさに『昭和世代』って感じですね。」
そうですね。

「貴重なエピソードをありがとうございます。さて、所高卒業後はどうされましたか？」
食物の研究がしたいという理由で山形大学の農学部に入り、様々な研究をしました。一番覚えてるのは、牛の糞からアルコールを採取しお酒を作ることができたのではないかと考察し実験したことです。

「画期的な試みですね。果たして、結果は？」
実験室に1週間ぐらい寝泊まりし研究結果を心待ちにしていました。確かにアルコールは採れたのですが、どうしても「匂い」が取れなくて。どことなく匂うんですね。商品化は断念しました(笑)。

「大学では他にどんなことをしましたか？」
所高の1年生の時にラグビー大会というのがあった、そこで初めてラグビーをやったのですがとても楽しくて。

「ラグビー大会。今も実施しています。今年は50回目の記念大会でした。」
所高には残念ながらラグビー部が無か

ったので大学でラグビー部に入部しました。3年生の時に、それまで10年連続で負けていた東北大に勝利しチーム全員で喜んだのを覚えています。特にOBの方々の感慨はひとしおで、その日の祝勝会では、たらふくご馳走になりました(笑)。

「さて、本題に戻りますが今回『コーヒーストップ』を始めた経緯を教えてください。」
私は大学を出て東洋水産という食品会社に入社しました。

「存じ上げています。マルちゃん、ですね。」
はい。主に工場勤務から中国駐在まで幅広く担当しました。当時はバブル期で『24時間働けますか』という有名なCMコピーのような、今ではとても考えられない労働時間でした。アラスカに3ヶ月出張に行かされ、そこでスケソウダラなどの加工作業をしました。

「アラスカですか。」
はい。そこで朝5時から夜12時ぐらいまで働いていました。

「今では考えられない。」
当時20代でしたからやれたと思います。アラスカには娯楽のようなものが何もないので、休みの時は海で鮭を釣るといふほとんど仕事と同じじゃないかというフリータイムでした(笑)。建物がほとんどないので遠くまで見渡せて、たまに魚を釣つてると数キロ先に熊がいるのが見えてかなりビビりました。

「アラスカは英語圏ですが、英語は・・・？」
全然できません。英語力がなくても何とかジェスチャーなどで思いを伝えれば相手に届きました。コミュニケーションは言葉だけじゃないと感じましたし、所高の個性豊かな連中に採られたことでいわゆる「生きる力」の基礎がついてい

たのだと思います。
「いよいよ本題ですが、富士見市に『コーヒーストップ』を開きたいいきさつを教えてください。」

東洋水産に勤めていた55歳の時に、妻から昔からの彼女の念願である「飲食店を経営してみたい」という話が出ました。私も中学の時にオーストラリアで農場経営という夢を持っていましたが、そこまですべてなくとも妻と一緒に地元でお店を経営するのもいいなと思い、早期退職をして店舗候補となる場所を求めて不動産屋を回ったりしました。妻は元同僚で、結婚後退職し公立高校の学食で食事を作るなど「食」にこだわった仕事をしてきました。その妻がお店を出したい、それもカフェをやりたいと提案し、私も協力することにしました。

「お店はいつスタートしたんですか？」
2023年の5月からです。

「どのようなお店なのでしょうか？」
もともと店を始めようとした時がちょうどコロナ渦だったので、テイクアウトできるものを作ろうと考えました。

そこで、パンが嫌いな人ってほとんどいないんじゃないかと思っただけです。パンといえはコーヒードととなり、値段も100円から300円の間で買えるものを考えました。店名は「いつつぽし」と言います。妻と娘の好きなアイドルグループ、ABCZのファーストアルバム名を日本語にしました。実際にABCZの皆さんがTVのサプライズ企画で看板作りを手伝ってくれました。二人とも超感激していました。さらに、この店が「散歩の達人」という雑誌に載って、おかげさまでお客様がかなり増えました。

「やはり地元の方が多いのですか？」
そうですね。お子さんからお年寄りま

で幅広い層に愛されております。
「所高を卒業して何か思うことはありますか？」
歴史ある学校ならではの出会い、ですかね。

「具体的にお願います。」
東洋水産に勤務してる時に、中国の海南島というところへ出張して、エビの養殖場で働いていたのですが、そこに一緒に来ていた社員と雑談をしていたらなんと所高の先輩だったと知り大変驚きました。まさか中国のこのピンポイントで所高の先輩に会うとは。やはり所高は歴史があつてたくさんの方の卒業生がいる分、日本を出ても所高生に会うんだなと感慨にふけました。

「さすが2万人を超える卒業生数ですね。では、最後に今の所高生にひと言をお願いします。」
所高に対する愛着や誇りを持っていて欲しいです。皆さんが楽しむ場が所高にはたくさんあります。ぜひその機会を活かしてください。以前、社員時代に取り引先の社員の方と一緒に北海道に出張したことがありましたが、その人がなんと所高出身の方でした。仕事が終わった後に一緒に食事をしたのですが、2人で所高愛を語るとても熱い夕食会となりました。こんな学校はなかなかありません。

「本日は貴重なお話をありがとうございました。」



岡崎先生 / 榎元先生 インタビュー

本校卒業生であり、かつ本校で教員として活躍されたお二人がこの4月に他校へ異動されました。そこで、お二人が所高生の頃のお話を伺いました。



岡崎理恵先生
(在職期間：
2017年4月～
2024年3月
7年間)

・まずは中学生の時に所高を志願した理由を教えてください。

「中学3年生の時に教わった英語の先生が、授業時によく『所高は面白いぞ』と所高を推していたので、『そんなに面白いなら行ってみたい!』と思ったのがきっかけです。」

・所高3年間で一番思い出に残っていることは何でしょうか?

「3年間続けた部活動が大切な経験だと思います。私は音楽部に所属して、副部长と学生指揮者をやらせてもらいました。先輩達のレベルの高い歌声に追いつきたくて、

ひたすら練習しました。定期演奏会で練習以上のハーモニーを作ることができた時の感動は忘れられません。文化祭では有志バンドのバックコーラスにも声をかけてもらい、いい経験になりました。今でも合唱団とアコースティックギターのバンドに入って歌っています。」

・「教師」として所高で過ごしてみたいかがでしたか?

「生徒として過ごすには最高の学校でしたが、教師として過ごすには大変な学校だと今は感じています。時代の違いもあると思います。自分が所高生の時は「所高の先生になれば楽ができるのでは!」と思っていました。実際は膨大な業務をこなしながら、生徒の様々な活動を支えるために奔走する毎日でした。」

・今の所高生に一言お願いいたします

「所高の伝統や自由・自主自立は、時代とともに形や意味合いを変え

ながら後輩へ受け継がれていくものだと思います。先輩達の形式にとらわれず、志を継承しながら自分達の時代の自主自立と向き合っていて、楽しい所高生活を送ってください。」



榎元俊介先生
(1985年3月卒
在職期間：
2005年4月～
2024年3月
なんと19年!)

・まずは中学生の時に所高を志願した理由を教えてください。

「気が付いたら、入学していた感じなので『これが理由です!』というのには特に思いつかないですが、強いて言えば……」

中3の秋くらいだったと思います。が、ふらつと外から学校を見てみると所高の校舎が見えてきて、裏門から3号館が見えますが、1階の窓(化学実験室)に化学部って書いてあったんです。それで、あー化学部があるんだって思ったのが一

・所高3年間で一番思い出に残っていることは何でしょうか?

「化学部の思い出が一番大きいと思います。いろいろありますが、所高祭では場所が化学室だけでは足りなくて、1年2組の教室も借りて行ったことは今でも覚えていません。」

・「教師」として所高で過ごしてみたいかがでしたか?

「とても幸せな時間を過ごすことができました。多くの先生方、そして生徒たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。」

・今の所高生に一言お願いいたします

「あくまでも個人的な意見ですが、『昔の所高は……』にとらわれず、どんな時代に合わせて新しくバージョンアップしていったらいいと思います。」

新会員となつて

山崎 かれん(令和六年三月卒業)



大好きだった所沢高校を卒業して、もう少して四ヶ月が経ちます。最近、寒暖差が激しく、体調管理が難しい時期ですが、季節の変わり目を楽しめる時期でもあるなど。私は大学生生活にも心が落ちて来て、日々楽しみながら学びを進めています。

です。素敵です。

「三年間、この時間の使い方はそれぞれ、受け身でいたら時間は勝手に過ぎていく。」だから、自分で走らなきゃ。もちろん、何回も転びんで、痛いんです。疲れます。でも少しずつ遅くなれます。

私は武蔵野大学ウェルビーイング学部に進学し、わたしの幸せ・世界の幸せをデザインし、カタチにしていくために「ウェルビーイング」について学んでいます。楽しいです。

一学期の間は、『畑』『対話』『人工能』『ウェルビーイングデザイン』『コーチング』について触れて来ました。夏には台湾へ研修に行きます。(ぜひこの機会に武蔵野大学ウェルビーイング学部を少しでも知っていたらけると幸いです。)

所高生活と所沢での経験、武蔵野大学で学んだことを活かしながら、所沢高校同窓会に向き合います。所沢高校の益々の盛り上げのために！私にできることを存分に発揮していきます。

どうぞよろしくお願ひいたします！(Facebookアカウントあります) 笑

石原 凜(令和六年三月卒業)



入学を祝う会で「所高でしかできないことをやりたい」と直言し、入学しました。所沢高校でしかできないことって何だろう。と考えていく中で、お金を払っても買うことのできない本当に素晴らしい経験をすることができました。

私は三年間体育祭実行委員に所属しており、三年生の時に副総務長を務めました。コロナによる規制がほとんど無い体育祭を実施することができましたが、自分たちが経験したことのない本来の体育祭を創る中で様々な困難にぶつかりました。その中で身につけたことは、「考える力」です。以前の考えていない私は、歴代の先輩方によって決められていたことを簡単に「伝統」と呼んでいました。いつ誰がどんな想いや目的でどんな経緯で決めたかも分からないことだけが形式的に残っていることに疑問も持たないまま「こういうものだから。」と自分に言い聞かせ、そういう風子に与えられていたことをただこなすだけでした。しかし、あの先生から「お前らは考えているん

じゃなくてただ思っているだけだ」と言われたときに、自分自身を客観視し自分に足りなかった力に気づくことができました。

去年と同じ、例年通りといった企画・運営をしていると体育祭は絶対に進化していかない、むしろどんどん衰退していくことに気づいたのは自分の代の体育祭が終わった時でした。本当に大事だったのは真似することじゃなく、自分たちらしく、新しくしていくことだったのです。沢山の後悔をしたことから、私にできることは何だろうと考え、体育祭バックアップ委員会に残りました。様々な新しいことに挑戦しましたが、一度した後悔は簡単に消えずむしろ増えていくことを知りました。そんな風に沢山の壁にぶつかり、沢山の成長をすることができたのは先輩や先生方、仲間の存在が大きかったと思います。私の活動に関わった全ての方に感謝しています。

入学当初は大学に進学するつもりはありませんでしたが、沢山の方と出会い、関わっていく中で教師になる夢を見つけることができました。所沢高校の生徒であった矜持を忘れずに、自分自身や信頼してくれた人たちに誇れる自分でありたいと思います。

【所高のいま】

令和5年度～6年度

新型コロナウイルスへの感染対策を継続しつつ、本来の学校生活・学校行事に戻ることができた1年でした。6月には生徒会役員選挙が行われ、選挙管理委員会の協力もあり、実際の選挙で使用される投票箱・記載台を用いて投票が行われました。9月には所高祭が行われ、記録が残っている中では、過去最高の来場者数となりました。11月には後期、5月には前期生徒総会が実施され、生徒会や委員会の活動報告や活動方針について白熱した議論が行われました。3月の卒業式・卒業を祝う会では、卒業生が後輩たちへ「自由とは何か?」について、メッセージを伝えました。後輩に伝統が引き継がれていく契機になったと思います。



実際の投投票箱を使用した生徒会選挙



想い出のユニバーサルスタジオジャパン



過去最多の来場者となった所高祭



所高を巣立つ卒業生



白熱した議論が行われた生徒総会



全校生徒によるワッショイ!



所高生としての第一歩となる入学式

株式会社THiS活動報告／起業ゼミ開催／母校で教育実習

株式会社THiS活動報告



同窓生による在校生支援事業の一環として行っている株式会社THiSの顧問の山下勝也(昭五三卒・株式会社Cプロジェクト)さんに、活動報告をお願いいたしました。

【現況】

キャリア教育の一環として実験的にスタートさせた「高校に会社を作ろう！」も今年で四年目に入り、社長も三代目となりました。本年度の「会社説明会」も二回実施し、新入社員も一六名(五月一日現在)を数え、組織規模としては過去最高となりました。(実質活動社員総数は三十名ほど)

(参考ビジネス)

◆じよすい学習舎(業務受託事業：中学生の学習補助活動、塾内事務作業など)

【成果】

一、組織の継続力
・スタートから継続して受託できている。求められている顧客(塾)からのニーズに対応できている。継続力を意識した下の学年への指導力の獲得。
二、コミュニケーション能力、営業力の獲得
・チーム内への連絡、中学生への指導、シフト表作成、メンバーへの委

託料の配分など、自主運営力の獲得。
・業務委託料金の値上交渉の成功。

三、顧客からの組織への信頼

・仕事に就く前に、事前面接を塾が行っていたものを廃止し、所沢高校内で採用活動を一任。
・新規イベントの営業代行業務を受託。

【課題】

一、経験不足からくる新規商材、新規サービスのアイデア不足。
(※新規商材の兆し 古着販売ノウハウの学習中)

二、実践を重視したため、専門知識、法的知識等の理解不足。

三、社員増と仕事量のバランス欠如。

四、中期(1、2年程度)計画力の欠如(事業計画、組織計画の立案が必要)

※悲観的なものではなく、高校生なら当然、一般組織でも発生する課題。

【番外編としての成果】

・この所沢高校内で会社活動を「総合型入試(旧AO入試)」のひとつの有効な手法として実績が出てきていること。ある意味、所沢高校が得意とする武器(秘密兵器)か。

詳細は情報サイト『とこなび』の「高校生プロジェクト」の記事をご覧ください！



起業ゼミ開催！

六月五日(水) 放課後、同窓会館「希望の鐘」一階にて、「ETIC×起業ゼミ探究学習プログラム」が同窓会の在校生支援事業の一環として開催されました。

自ら手を挙げた参加者二〇名が、自ら考え、対話を繰り返し、新しいものを生み出していくビジネスのスキームを学んでいました。「自立自立」をモットーとする所沢高校と起業家精神(アントレプレナーシップ)はとても相性がよく、既存の枠にとらわれず、新たな価値を創造していく所高生がここから生まれていくことを期待したいと思います。

参加者は七月に行われるビジネスコンテストに応募する予定です。

母校で教育実習！

令和六年度前期教育実習として、五月二三日から五名の卒業生が来校しました。採用試験を突破して、晴れて正教員として母校に帰ってきてくれる日を楽しみにしています！

写真右から、

岩崎由華(R元卒 保健)

小林雄人(R二卒 地歴)

榎本心大(R二卒 国語)

出生悠紀(R三卒 保健体育)

古田琴音(R二卒 家庭科)

※後期教育実習予定者

(九月二日から)

塚原嘉輝(R二卒 理科)

平 航大(R二卒 保健体育)



希望の鐘で行われたDay2の様子



令和6年度入試結果 大学・短大合格者数(令和5年度卒業生・既卒生)

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
国公立大学	埼玉大	3	1	4	3	1	4
	千葉大		1	1			
	東京農工大	1		1	1		1
	前橋工科大	1		1	1		1
	埼玉県立大	4		4	4		4
	北九州市立大	1		1	1		1
	防衛大学校	1		1	1		1
	防衛医科大学校	1		1	1		1
	国立看護大学校	2		2	1		1
	計	14	2	16	13	1	14
	令和5年度入試	13	4	17	12	3	15

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
私立大学	青山学院大	5	1	6	1	1	2
	亜細亜大	12		12	1		1
	跡見学園女子大	2		2	1		1
	桜美林大	2		2			0
	大妻女子大	4		4	2		2
	学習院大	6		6	5		5
	学習院女子大	4		4	2		2
	神奈川大	8		8	4		4
	神奈川工科大	1		1	1		1
	関西大	1		1			0
	北里大		2	2		1	1
	共立女子大	4		4	1		1
	杏林大	8		8	5		5
	近畿大	1		1			0
	慶応大	2		2	2		2
	工学院大	4	2	6	1		1
	国学院大	10		10	5		5
	国際ファッション専門職大	2		2	2		2
	国土館大	13		13	5		5
	駒澤大	22	2	24	8	1	9
	埼玉医科大	3		3	2		2
	埼玉工業大	5		5			0
	産業能率大	5	1	6	2	1	3
	実践女子大	4		4	4		4
	芝浦工業大	3		3	1		1
	十文字学園女子大	3		3	1		1
	順天堂大	1		1	1		1
	城西大	17		17	2		2
	城西国際大	2		2	1		1
	上智大	1		1	1		1
	昭和女子大	9		9	6		6
	女子栄養大	2		2	1		1
	白百合女子大	1		1			0
駿河台大	7		7			0	
聖学院大	2		2			0	
成蹊大	16	1	17	6	1	7	
成城大	11		11	6		6	
聖心女子大	2		2	1		1	
西武文理大	5		5	3		3	
専修大	18		18	3		3	
洗足学園音楽大	1		1	1		1	
創価大	1		1			0	
大東文化大	42		42	9		9	
高千穂大	5		5			0	
拓殖大	13		13	2		2	
玉川大	3		3	1		1	
中央大	26	1	27	13		13	
津田塾大	3		3	3		3	
帝京大	35	2	37	9		9	
帝京平成大	7		7	5		5	
東海大	6		6	1		1	
東京医科大	1		1	1		1	
東京医療保健大	1		1	1		1	
東京家政大	5		5	5		5	
東京経済大	17		17	5		5	
東京工科大	19		19	3		3	

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
私立大学	東京工芸大	7		7	2		2
	東京国際大	10		10	1		1
	東京慈恵会医大	1		1			
	東京情報デザイン専門職大	1		1			
	東京女子大	2		2			0
	東京女子医大	1		1	1		1
	東京成徳大	1		1	1		1
	東京造形大	2		2	2		2
	東京電機大	6		6	3		3
	東京都市大		1	1			0
	東京農業大	4		4	4		4
	東京薬科大	2		2			0
	東京理科大	3		3	3		3
	東洋大	66	1	67	21		21
	獨協大	8		8	3		3
	日本赤十字看護大	1		1	1		1
	日本大	46	2	48	20		20
	日本映画大	1		1	1		1
	日本工業大	9		9	1		1
	日本社会事業大	1		1	1		1
	日本獣医生命科学大	1		1	1		1
	日本医療科学大	1		1	1		1
	日本女子大	4		4	4		4
	文化学園大	3		3	2		2
	文教大	4		4	2		2
	文京学院大	2	1	3	2	1	3
	法政大	24		24	11		11
	星薬科大	2		2	1		1
	武蔵大	20	4	24	9	2	11
	武蔵野大	9		9	4		4
	武蔵野美術大	6		6	3		3
	明治大	19	4	23	8	2	10
	明治学院大	5		5	4		4
明治薬科大	5		5	3		3	
明星大	18		18	4		4	
目白大	6		6	2		2	
ものづくり大	2		2			0	
ヤマザキ動物看護大	1		1				
立教大	11		11	5		5	
立正大	4		4	1		1	
立命館大	2		2	1		1	
和光大	1		1			0	
早稲田大	5	2	7	4	1	5	
計	740	27	767	283	11	294	
令和5年度入試	819	62	880	272	22	294	

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
短期大学	埼玉医大短大	1		1	1		1
	女子美術大短大部	1		1			0
	戸板女子短大	1		1	1		1
	計	3	0	3	2	0	2
令和4年度入試	2	0	2	2	0	2	

	種別	令和6年3月卒	令和5年3月卒
		4年制大学	296
短期大学	2	2	
専門学校(各種学校)	21	21	
その他の進学(留学等)	0	1	
就職(公務員含む)	1	5	
未定(浪人含む)	19	30	
共通テスト 出願者数	297	308	
卒業生数	339	343	
現役進学率	94%	91%	

入試方法	令和4年3月卒業生	国公立大	私立大	短大
	一般入試	9	621	2
	公募推薦・総合型	5	63	1
	指定校推薦	0	56	0
合計	14	740	3	

令和6年3月卒業 同窓会クラス幹事

Table with 3 columns: Group (1-9), Name, and Name. Lists class officers for graduates of March 2024.

令和6年度 同窓会役員

Table with 9 columns: Role, Name, Graduation Year, Role, Name, Graduation Year, Role, Name, Graduation Year. Lists officers for the 2024 fiscal year.

令和5年度 埼玉県立所沢高等学校同窓会決算報告書

収入決算額 11,539,043 円
支出決算額 3,618,801 円
残額 7,920,242 円 (令和5年度へ繰越)

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Comparison Change, Summary. Details income items like fees and interest.

2. 支出の部

(単位:円)

Table with 7 columns: Item, Budget, Change, Current Budget, Actual, Residual, Summary. Details expense items like support fees and administrative costs.

令和4年度収支 収入決算額 4,073,581 円
支出決算額 3,618,801 円
残額 454,780 円

3. 積立金

2,000,000円 (埼玉りそな銀行所沢支店)

上記の通り報告いたします。

令和6年4月26日 埼玉県立所沢高等学校同窓会長 秋田 孝

令和5年度決算報告書及び証憑書類を監査した結果、相違ないことを証明いたします。

令和6年4月26日 埼玉県立所沢高等学校同窓会 監事 木村 一男 監事 金子 祐平

令和六年度所高祭のお知らせ

日程：九月七日(土) 八日(日)

※公開時間につきましては、所沢高校または同窓会のHPでお知らせします。

〈同窓会コーナー〉

九月七日(土) 十一時～十六時

希望の鐘(同窓会館) 一階

・同窓会活動報告

・同窓会員同士の交流



なお、終了後に懇親会も予定しております。世代を越えた同窓生同士の交流ができればと考えております。時間、会場等は当日お伝えいたします。できるだけ多くの方々の参加をお待ちしております。奮ってご参加ください！



同窓生で大賑わいとなりました



懇親会も盛り上がりました

所沢高校同窓会Facebook開設

同窓生同士の新たなネットワーク(づくり)としてFacebookの公式ページ(埼玉県立所沢高等学校同窓会【公式】)を二〇二三年九月に開設いたしました。



現在八十名ほどの同窓生が登録しており、同期会などの開催情報や所沢高校の情報を共有しています。ぜひ登録をお願いいたします。

同窓会総会報告

令和六年度同窓会総会が五月十一日(土)に希望の鐘(同窓会館)で行われました。役員二名と同窓会員四名の出席のもと、新役員・決算・予算が承認されました。現役の大学生も二名参加し、十代から八〇代の幅広い年代が一堂に会した、所高ならではの総会となりました。来年度は五月十日(土)の予定です。ご参加をお待ちしております。

同窓会開催情報

昭和五八年卒還暦同期会のお知らせ

みなさん、お元気ですか？還暦を迎えた今、所高で過ごしたあのかげがえのない日々をみんなで語り合いませんか？来年1月にお会いできるのを楽しみにしています。委員会では100名の参加を目標に、広く同期のメンバーにお声掛けをしています。同期会グループLINEを作成して連絡先を募っています。八月には還暦同期会のご案内を郵送する予定です。

昭和五八年卒の同窓生におかれましては、連絡先を委員までお知らせください。よろしくお願いいたします。

還暦同期会実行委員長 小林 馨
日時：令和七年一月十二日(日) 十七時～二十時

場所：京王プラザホテル (東京都新宿区西新宿2-2-1)

◎連絡先：還暦同期会実行委員会

Maitokoko1983@gmail.com
小林馨(委員長) 090-2423-4321

昭和四七年卒百希祝同窓会のお知らせ

日時：令和六年十二月一日(日)
場所：所沢市文化センターミューズ
管理棟5階(航空公園駅東口 徒歩十分)

◎連絡先：内野吉治 080-3353-7228

INFORMATION

- 『所沢高校百周年記念誌』、写真冊子『所沢高校百年の歩み』、校歌・応援歌・商業学校学生歌・女学校朝会歌を収録したCDをご希望の方は所沢高内の同窓会事務局までご連絡ください。
- 同窓会報で取り上げて欲しい話題等ありましたらご一報ください。また、活躍なさっている同窓生の方をご存知でしたらお知らせください。

- 住所変更等の場合は、ハガキなどの文書でご連絡ください。その際、記入者欄は必ずご記入ください。未記入の場合はお受けできない場合があります。なお、ハガキでの連絡で、個人情報を隠したい方は、お手数ですがハガキを封筒に入れご郵送ください。

所沢高校同窓会 ホームページ

○主な内容は ・歴史写真館 ・校歌、応援歌 ・同窓会報バックナンバー ・著名な同窓生 ・会員交流のページ ・クラス会の連絡、報告等
会員交流のホームページは、ホームページから個々に登録することで、使えるようになります。



お願い (クラス会等の幹事さんへ)

クラス会の開催予定や、楽しい報告がございましたら、ぜひお知らせ下さい。

会報題字
駒井光明氏(昭和五十年卒)

印刷 有会社社須賀印刷
049(222)1989